



(株)ゼンリン様と防災協定締結

11月19日 会津地方では初の協定締結

災害時における地図製品等の供給等に関する協定締結式が行われ、(株)ゼンリン様より災害対応用住宅地図などをご提供いただきました。協定締結により、災害に備えて最新の住宅地図を常時備蓄することができ、災害発生時における迅速な救助活動に役立てられます。

この協定は平成25年から全国で締結されており、本町は会津地方で初の締結となりました。



成田庄一さん(金上)が旭日双光章を受章

町政進展のため100万円を寄付

秋の叙勲で旭日双光章を受章された成田庄一さんが表敬訪問されました。成田さんは「長年にわたる町民皆さんからのあたたかいご支援とご協力の賜物で旭日双光章を受章する運びとなり、御礼と感謝申し上げます。これからも町発展と町民皆さんの幸せのため日々努力精進する所存です。」と述べられ、町政進展のため町に100万円をご寄付されました。



▼大量のゴミや落ち葉の詰まったごみ袋がたくさん!!

▲みんなでゴミや落ち葉を拾いました。きれいになったね!

坂下南小学校 清掃活動のボランティア

学校行事の一環として

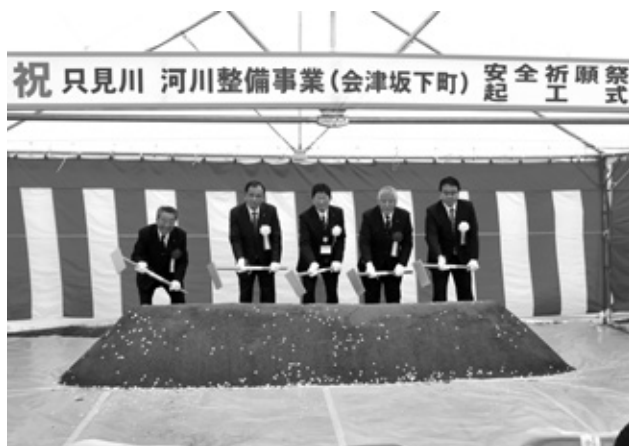
11月2日、坂下南小学校の全校児童が町の清掃活動を行いました。このボランティアは学校行事として年2回行っており、坂下中央公園の清掃活動に取り組んでいた6年生児童の皆さんは「沢山のゴミや落ち葉を集め、公園をきれいにする事ができて良かったです。」と笑顔を見せました。坂下南小学校児童の皆さん、ありがとうございました!



会津坂下町少年の主張大会 開催

11月21日 中高生7人が夢や希望を語る

会津坂下町少年の主張大会が坂下中学校体育館で開催されました。坂下中学校・会津農林高校・坂下高校から選抜された7人が、将来の夢や日ごろ感じていることなどを発表しました。今回は坂下高校美術部による「民家の甲子園」の発表も行われました。訪れた人は生徒たちの主張に熱心に耳を傾けていました。



工事の安全を祈願して、鍬入れの儀を行う

只見川河川整備事業安全祈願祭・起工式挙行

洪水から人命を守ることを目的に着工

11月30日、只見川河川整備事業安全祈願祭・起工式が高寺コミュニティセンター附属体育館で行われ、齋藤町長をはじめ関係者44人が参列しました。この事業は、平成23年新潟・福島豪雨の洪水被害を踏まえ、人家の浸水被害軽減を目的に着工されます。今後、片門地区の堤防整備や川幅の拡幅などが行われる予定です。



除雪機械安全運行祈願祭及び出動式挙行

今年度完成の会津坂下町防雪サブセンターにて

11月19日、除雪機械安全運行祈願祭が行われました。神職が除雪機のお祓いを行った後、参加者が玉ぐしをささげてこの冬の作業安全を祈願しました。その後、作業員が除雪車の点検や車両の試運転を行う出動式も行われました。

今年度も全力で雪対策、降雪時の安全な道路の確保に取り組んでいきます。



道の駅あいづ認定6次化商品・試食販売会開催

11月17日 伝統野菜を活用した商品も販売

道の駅あいづ 湯川・会津坂下にて開催された試食販売会は大勢の人で賑わいました。来場者は地元の新鮮な農産物をふんだんに使用した認定商品を試食、品定めし、購入していました。会津農林高校の生徒が監修した、会津伝統野菜「小菊かぼちゃ」を活用した商品も販売され、用意した商品が午前中で完売するなど大好評でした。



ばんげいにしえ街道新そば祭り開催

農業改善センターにて約1,100人来場

11月10日、11日の2日間、新そば祭りが開催されました。来場者は「挽きたて・打ちたて・茹でたて」の透き通った新そばや地酒を堪能しました。馬刺しや農産物加工品の販売も行われ、会場内は町の名物などを買い求める人で賑わいました。また、ステージでは蕎麦口上や娘子隊の演舞が行われ、祭りに華を添えました。

お寄せいただいた「住民の声」を紹介します

認知症カフェの開催

問 祖父母が会津坂下町に住んでいます。認知症となった祖母のために、会津坂下町でも、認知症カフェを開催していただきたく、ご提言します。

答 町では、「みんなが支え合う生きがいのある長寿社会」を基本理念に、第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定しました。その取り組みの一つとして、「認知症カフェ」を平成30年5月より町保健福祉センターで毎月第2火曜日午前10時から開催しています。認知症の方やそのご家族、また認知症に関心のある方が気軽に会話のできる交流の場ですので、ご利用ください。 【回答 生活課】



雑草の処分方法

問 ごみの量を減らしましょうといいながら、刈り取った雑草を黄色のごみ袋に入れて、燃えるごみとして出すように役場の方から言われ、その様に出しているが、お金の無駄使いそのものだと思います。早急に止めたほうが良いと思います。

答 刈り取った雑草の処分方法については、処分に関して問い合わせがあった場合にのみ、黄色の可燃ごみ袋に入れて収集日に出すよう回答しています。

中には自己の責任において、所有地内でコンポストなどにより処理をされている方がいるので、特に支障がなければ可燃ごみとして出さなくても構いません。 【回答 生活課】

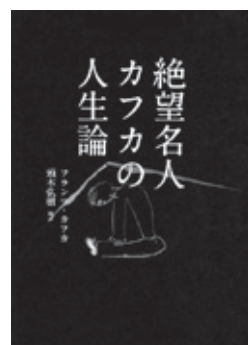
図書室だより

新着本の紹介

『日本国紀』  一般書 百田尚樹／著 幻冬舎	『到達不能極』  一般書 斉藤詠一／著 講談社
『無限の玄／風下の朱』  一般書 古谷田奈月／著 筑摩書房	『ツトムとネコのひのようじん』  児童書 にしかわおさむ／ぶん・え 小峰書店
『おれからもうひとりのぼくへ』  児童書 相川郁恵／作 岩崎書店	『わくせいキャベジ 動物図鑑』  絵本 tuperatupera／作・絵 アリス館

広報でお気に入りの本も“おすすめ”しませんか？
中央公民館では、広報でお気に入りの本をお薦めしていた
だけの方を募集します。詳しくはお問い合わせください。
■申込：中央公民館 図教育課 社会文化班 ☎83-3010

会津農林高校 図書委員会副委員長 五十嵐あいりさんが選んだ わたしがオススメする1冊



『絶望名人 カフカの人生論』

カフカ／〔著〕
頭木弘樹／編訳
飛鳥新社

「読んでいて、つられて落ち込むというよりは、かえって力がわいてくるのです。」と編訳者のまえがきにあるように、落ち込んでいる人にこそオススメの本です。この本は、ドイツ作家のフランツ・カフカが遺した手紙、書籍や紙切れに書いたちょっとした言葉まで集めてあります。彼はどこまでも臆病で、悲観的な人でした。自分は誰よりもネガティブだと思っている人は、ぜひこの本を手にとってカフカの言葉に寄り添ってみてください。